



3つの顔～朝礼校長講話より～



昨日、白鳥小学区・弥生小学区の体育祭が行われました。多くの皆さんが、リレーの選手や器具係などの運営のお手伝いとして参加しました。私も、白鳥コミュニティセンターのグラウンドへ出かけ、皆さんの様子を観ていましたが、本部テントの中で、本部役員の方や来賓の方から「毎年、弥富北中の生徒の皆さんは、本当によく動いて係の仕事をしっかり行ってくれる。本当にありがたい」と、感謝の言葉、お褒めの言葉をいただき、たいへん嬉しく思いました。

弥生小学校で行われた弥生学区の体育祭でも、同様に、皆さん係の仕事をしっかり行くと教頭先生から聞いています。

ところで、皆さんには、3つの顔があります。1つ目は、家族としての顔です。それぞれ家庭での役割があり、家族の一員としての責任があると思います。2つ目は、弥富北中の生徒としての顔です。中学生として、勉強・部活などやるべきことにしっかり取り組む責任があります。そして、もうひとつ地域の住民としての顔です。地域では、いろいろな活動が行われると思います。防災訓練や昨日のようなフェスティバルなど、地域の一員として積極的に参加してほしいと思います。土日に行われることも多いので、部活動と重なることも多いかと思いますが、できる限り地域の一員として参加し、地域とのつながりを深めてほしいと思います。

読書の効果～図書委員長の話より～

突然ですが、皆さんは、朝読の時間以外に本を読むことがありますか。おそらく、なかなか普段の生活の中で本手に取ることはないのではないのでしょうか。そこで、今から、読書の効果について話をしたいと思います。

皆さんには自分なりのストレス解消法がありますか。わずか6分で、3分の2のストレスが解消される方法があります。それは、集中できる静かな環境で読書をすることです。それだけで、音楽を聴いたり、ゆっくり休養するよりもストレスが解消されるそうです。皆さんも一度試してみてください。

読書によって得られる力は、集中力、想像力、記憶力、語彙力などです。新しい言葉を知ると意味も知りたくなりますよね。本を読むことで皆さんの言葉が身につく、自然に使えるようになります。

本は、作者によって表現の仕方がさまざま、読むたびに新しい発見があります。今日、紹介した以外にも、読書によって身につく力はたくさんあるので、空いている時間には少しでも読書をしてください。そのためにも、図書室で、たくさんの本に触れ、自分に合った本を探してみてください。

